

広さともっともに自分自身や周囲を矢口キヤンキヤン笑わせられませんか。さっかいい空の下で「今」を生きるといふこと

おに準備が始まっています。

# 1年間でも大切な日 卒業式 一番の行事

「卒業証書授与式」卒業証書を授与する式典は新堂中学校はじまて、切れ目なく延々と続いており学校の歴史そのものであります。今年度の卒業証書に記される番号は七三二七から始まり七四五九までつまり、7459人の卒業生が「新堂中学校と母校とすま」三月。保護者や地域のみならずの中にはその一歩、という方とされるのではないのでしょうか。

三年間、三年生のみなさんが新堂中へ通うのがあたりまえであったけれどそんな毎日が「特別になる日」がすぐそこに...  
なりす

# 明日から... 弥生・3月・March

いつになく寒い日が続いた2月、先週は雪まで降り...でも、よく見ると街中には「春」が準備を始めています。梅の木の花は小さく、ふくらみを増えています。

## 有終の美を飾る!!

しなかり自分と向き合う中でこの三年で大きく成長した自分に誇りを持ち、それを支えてくれた人に気付く感謝の気持ちを表す。そしてこれからの自分への決意を示す機会、そしてやり直してのきかない一回きりの行事です。  
**中学校と卒業する成長した姿を全力で表現!!**  
それは立ち居振る舞い、身だしなみ返事、ことば、合唱等々その全てに魂を込める行事です。感謝と決意を自分たちの姿で目一杯表現できる一生に一回の一日を素晴らしいものにしましょう。

＊式典は入試に臨んだ時と同様、服装、髪等の身なりをきちんと整えます。

...これから将来に向かって進んでいく中で悩むことや失敗などがたくさんある。そんなときに三姉妹の言葉である。人の成長は、自分自身の成長につながる。ということや新しいことを知ることでまた新しいことがわかる。失敗した先にも新しいことがある。というところの、あきらまずに努力したいと思いたい... (2組)

木の芽が  
あつらひ  
から

あつらひ  
から

外灯というものは  
人のために  
つけられたよ  
な

新堂中 3年学年通信  
つむぐ  
TsumugU  
2022. 2. 28 (月) No. 43

2022. 2. 21 (月)  
◎校時  
JICA  
青年海外  
協力隊  
三女子秀佳さん  
から学ぶ  
Online  
授業

別紙「青年海外協力  
隊 三女子隊員より」  
の資料より...

柴井先生が  
まとめてくださった  
なかで「幸福度」  
「心の豊かさ」について  
の箇所を引用させて  
もらいました

自分も日本で育ちました。日本から見ると、東南アジアの国は貧しいかと思いましたが、自分が協力隊の活動を通して、貢献したいと思っていました。しかし、それは、ただのおこりでしかない気がきました。(ベトナムは、果物や食料が豊富で、色々な食事ができます。(毎日マンゴーやメロンを食べることができたり。)ベトナム人の価値観として、お金があれば、幸福ではなく、家族と一緒に過ごすことが一番の幸福と考えています。ベトナムは、日本よりも幸福度が高く、心が豊かと感じました。貧しいや幸福などは、人それぞれですし、国が発展していないからかわいそうと思うのは、違うと感じました。なので、『貧困だからかわいそう』という視点ではなく、もっと大きな視点で何が問題で自分には何ができるのかという部分を考え続けてください。

この日も大忙しにしたいです。ベトナムから活動は伝えたけど三女子さん、柴井先生の中での同級生だったにも関わらず、お会い再会したいです。今度こそお会いしたいです。

職員室の井上先生...「シンチャオ」「カムオン」ベトナムのあいさつを覚えていたんだね。

ぎましたね。世界は広く...それでも同じ時にonlineで通じ合えるなんて...日本を飛び出し世界を働か、文化のちがひ、言語のちがひ...世界の